



楡紅葉 (はぜもみじ)

発行：令和5年7月4日（火）（文責） 校長 田中 克三



カラー版は学校ホームページでご覧になれます。QRコードはこちら→



積み重ねてきた思いを自信に変えて



R5.6.23 選手推戴式・部活動激励会

6月23日（金）、4年ぶりに参観者の人数制限なしで、中体連総合体育大会・吹奏楽コンクールに出場する選手、部員の皆さんに対する「選手推戴式・部活動激励会」を行いました。

堂々とした入場行進、熱い決意表明、吹奏楽部の激励演奏、部長全員による宣誓、そのどれを取ってもこれまで積み重ねてきたものすべてをこの夏にぶつけていくという強い気持ちが伝わってきました。

PTAの代表者からは、力水となるスポーツドリンクと激励の言葉をいただきました。

私からはあと数日、本番までの一日一日を無駄にせず準備を怠らないこと、これまで積み重ねてきた努力と思いを自信とチャレンジ魂に変え、逆境に追い込まれても仲間を信じて最後まで諦めずにプレー・演奏するようエールを贈りました。

中原の暑い夏は、7月1日、2日の地区中体連総合大会で幕開け、まだまだ続きます！



【力強い言葉で勝利を誓う部長たち】



【吹奏楽部の激励演奏の様子】



【PTAからスポーツドリンク贈呈】



議案書は、中学校生活の「トリセツ」



R5.6.16 令和5年度中原中学校生徒総会

6月16日（金）、令和5年度の中原中学校生徒会の総会が開催されました。生徒会本部と6つの専門委員会の活動案に対し、約50名の生徒が質問を行い、活発な質疑応答が繰り広げられました。

今年の生徒会スローガンは「絆」。本部と各委員会が提案している活動内容は、コロナ禍で様々な活動が制限されてきた経験乗り越え、少しずつ元の学校生活に戻ろうとしている今、同じ学年の仲間だけでなく、全校の生徒同士で協力し合い、絆を深めていけたらという思いがベースとなっています。

- 「決まりを守ることは安全に楽しく生活をするにつながり、絆を深めることができる」（生活委員会）
- 「活動しやすい環境をつくることで活動が充実し、みんなの絆がより深まる」（美化委員会）
- 「たくさん本に触れることで、考えや想像力、相手の気持ちを考える力を養うことができ、人と人の絆を深めることに役立つ」（図書委員会）

中学校生活の「トリセツ」のような議案書のことは、中原中生徒会の本気度を感じました。あとは実行力。期待しています！



「まさか」のために知る



～ 不審者対応避難訓練・防犯教室 ～

6月20日(火)、不審者が校内に侵入したという想定での避難訓練を実施しました。「まさか」の事態に直面した時に最も大切なことは、**落ちて着いて対応すること**と、どのようにすれば被害に遭わない又は被害を最小限に抑えることができるか**対処法を知る**ということです。



緊迫感のある不審者対応の様子



岡町長が訓練の様子を視察

不審者に対応する役割となった職員を中心に、そのコツを教えてください、大変勉強になりました。

後半の「防犯教室」では、地元で護身術の普及活動をされている平尾さん、鳥丸さん及び鳥栖警察署の大坪さんから護身術の基本動作や被害に遭わないための心構えなどを教えていただきました。



護身術の基本を学ぶ

保護者の意見も参考に深める

～6.23 学校開放デー・ふれあい道徳～

6月23日(金)は、第3回学校開放デーということで、毎年恒例の「ふれあい道徳」を実施しました。

各クラス様々なテーマで道徳の授業を展開。葛藤させる場面では保護者も班活動に参加。**いつもと違う視点での意見を聞いて、自分たちの学びをより深いものにしていく姿が見られました。**



御参観、ありがとうございました。

【7・8月の主な行事】

- 7月 1日(土) 三養基・神埼地区中総体(～8日)
- 12日(水) 第2回読み聞かせ
- 19日(水) 大掃除
- 20日(木) 終業式
- 21日(金) 夏季休業(～8月24日)
- 三者面談・二者面談(～28日)
- 22日(土) 県中総体(～26日)
- 吹奏楽コンクール(～23日)
- 27日(木) JRCトレセン(リモート)



まるで本物の草花(驚)



～ 校内ギャラリー(Gallery) 第1弾 ～

コミュニティ・スクール活動の一環で、職員玄関前の空きスペースを活用して、「校内ギャラリー(Gallery)」を始めました。

第1弾として、6/20～6/26まで「樹脂粘土工芸」作品を展示しました。これは姫方区で教室を開かれている小林松江さんの御協力をいただいて実現したものです。まるで本物の草花を生けてあるのかと見間違ふような精巧さに、生徒も来校者も驚きの表情で覗き込んでいました。NHK朝ドラ「らんまん」でおなじみの牧野富太郎氏もびっくりしているのでは？**作品展示の御希望があれば、中学校教頭(0942-94-2038)まで。**



なかばるコミュニティの人③

こばやし まつえ
小林 松江 さん



勤務していた旧中原町役場を早期退職し、「樹脂粘土工芸」の教室を開いて約20年。これまで25名ほどの弟子に技術を教えながら、身近な草花をテーマとした作品を町内の公共施設や銀行などに展示する活動も継続してきた。



「とにかく花が好きだったことが始めたきっかけ」と語る小林さん。色遣いや素材の組み合わせ方など以前習っていた生け花での基本が役立っているとのこと。「樹脂粘土工芸」は細かな作業の連続。新しい作品に挑むときは今でも難しいが、**完成した時の喜びは手づくりだからこそ味わえる醍醐味(だいごみ)だ。**

10年ほど前に子どもたち相手に一度教えたことがあり、「もう一度チャンスがあれば、樹脂粘土工芸の良さを広めたい、教えたい」と願っているとのこと。

子どもたちには「**自分の好きなことを追いかけてほしい。**“手に職”ではないけれど、**【継続は力なり】ということ大切に**してほしい。」と穏やかな笑顔。

- 8月 2日(水) 全校登校日 平和集会
- JRCトレセン(～3日)
- 11日(祝) 学校閉庁(～17日)
- 21日(月) 3年学習会(24日も)
- 22日(火) 第1回SAGAテスト①
- (～23日)
- 25日(金) 始業式
- 1・2年学力検査(～28日)
- 28日(月) 生徒専門委員会

